

# トナカイリーダー12月中旬から稼働

長きにわたってその存在が明らかにならなかった「サンタクロース」。しかし、21世紀に入ってから、その存在は空想の世界のものではなく、実在の可能性を指摘する声が目立つようになってきた。世界各国で多く見られている。そのサンタクロースの正体は、実は北海道新聞社広告局が「どうしん夢プロジェクト」としてサンタ捜索チームを結成。同チームがいよいよ本格的に始動する。サンタクロースの動きをより正確にキャッチするために開発された「トナカイリーダー」も稼働を始める。

## トナカイの赤い鼻から特殊波をキャッチ



サンタクロースとトナカイ、物園で水中を飛ぶという異色な設定も、空気の抵抗も重力の影響もなす空を飛ぶことがきつかけ、解明して何度も実験を繰り返して移動できることを証明した。アダムスキー博士が参加のため日本を訪問した時に、開催地は、トナカイに見立てた旭川市の旭山動物園だ。8羽のペンギンに「トナカイリーダー」も稼働を始める。

## 飛行原理を解明、赤鼻の秘密がカギに

8頭立てのトナカイ、その秘密がある。それを解明するために、旭川市旭山動物園で実験が行われた。トナカイの赤い鼻から特殊な電磁波が放射されていることがわかった。この特殊な電磁波は、水中でも飛ぶことができる。トナカイの赤い鼻は、太陽の光を吸収できる。この特殊な電磁波は、トナカイの赤い鼻から放射されている。トナカイの赤い鼻は、太陽の光を吸収できる。この特殊な電磁波は、トナカイの赤い鼻から放射されている。



重要な役割を果たしていることがわかった赤い鼻

## 目撃情報や思い出をお寄せください

### 情報提供者の中から抽選で本のプレゼントも

赤い服を着た人物（から）の写真を、旭川市旭山動物園に送ってください。目撃情報や思い出をお寄せください。情報提供者の中から抽選で本のプレゼントも。応募方法は下の広告欄をご覧ください。



Vol.2

どうしん夢プロジェクト

### 「聖夜の奇跡」

聖夜を舞台につくられた物語や映画は少なくない。それは男女の出会いの物語だったり、愛をテーマにしたものだったり。時には奇跡が起こり人々に幸せをもたらす。読む人、見る人に幸せな気持ちを与えてくれる。

偶然起きる運命が、フランスに働き好運を呼ぶ。奇跡は聖夜に起こり、だからこそ聖夜は世界中で特別扱いされる夜なのである。

北欧の国、ノルウェーにも奇跡のような言い伝えがある。サンタクロースがプレゼントを持ってやってくるのを待ちわびる子どもたちが、あまりに寝つかないの、親たちが考えたおとぎ話である。クリスマスイブの夜は、自分の好きな本を枕もとに置いて寝ると、その本の世界が夢に出てきて、自分もその世界に入れるというのだ。



子どもたちは、自分の好きな本を枕もとに持ってきて、お気に入りの夢の中で活躍できること、起きた時には、サンタからのプレゼントがあることを思ってベッドに入る。ある子どもは「ピーターパン」と遊び、ある子どもは「アリス」と一緒に不思議な国に行くのだ。

こんな言い伝えもあって、子どもたちはイブの夜に自分が見る夢を演出するために、懸命になって本を読み、気に入った本を選ぶ。子どもが自分から進んで読書をするようになる。これも聖夜が生んだ小さな奇跡かもしれない。

応募方法の詳細は下の広告欄をご覧ください

企画制作／北海道新聞社広告局  
この広告企画はお子様と楽しんでいただくため、夢のある構成となっています。フィクションを多く含みますがご理解、ご了承願います。

どうしん夢プロジェクト 広告企画